

兵庫県パース事務所

インターンシップ報告書

経済学部 2回生

氏名 杉岡勇歩

期間：平成 30年 2月 20日～ 3月 13日

● インターンシップの研修内容

事務所イベント（スクールビジット）の手伝い

日本語クラスのアシスタント（事務所で毎週木曜日、土曜日に開講）

プライマリースクールを訪問し、日本の遊び（けん玉、コマ）をプレゼン

日本祭の準備（ポスター作成、ディスプレイ作成など）

日本祭でけん玉、折り紙販売、キッズブースで折り紙（ツル）などの折り方を教える

チャターボックス（事務所で毎週土曜日の午後に開催）に参加

総領事館で行われたレセプションに参加

● インターンシップに必要な英語力・スキル

* 英語力

最低限の必要な英語力は、日常会話表現程度かと思います。私は、それ以上の英語力がなかったため、基本的には、日本語を第二言語などとして学んでいる人たちが、日本語を学ぶこと助けることがメインだったので、困難に陥ることはほとんどなかったです。

* フレンドリーさ

日本語クラスの生徒や、チャターボックスに参加している方などは、とても日本に興味を持っていて、日本についてもっと知りたいと思っているので、そういう人たちに話しかけられるのを待つのではなく、自分から積極的に話しかけることが大切。英語を話す機会も増えます。

* 日本で当たり前に行っていることを説明する力

日本に興味を持っている方や、事務所を訪れる方は、私たちがふだん当たり前に行っていること、例えば、ご飯を食べる前後の挨拶（いただきます、ごちそうさまでした）や、日本の観光地や特産品などについて知りたいと思っています。しか



し、これらのことは、なんとなくは分かりますが、説明するとなるととても難しく、日本についてもっと知る必要があると感じました。

● インターンシップで得たこと

英語力の成長を実感することが出来たかという、分からないというのが正直な気持ちです。しかし、私は今回、自分がどのくらい現地の人と会話できるのか、つまり自分の英語力の現在地を知ることが出来ました。自分にはどのような力が足りず、どう鍛えればいいのか、今回はそういうことを知れるとても良い機会になりました。

事務所で働いてみて、社会に出て働くという大学生活では、決して経験できないことを経験することが出来ました。また、日本祭でより多くの人にけん玉、折り紙に興味を持ってもらうためにどのような広告を作ればいいのかなど、社会で必要となる力を少しだけではありますが身に付けることが出来た様に思います。



● 印象に残ったこと

オーストラリアの人たちは、散歩している時に会った人や、バスの運転手、スーパーの店員など会う人会う人と挨拶を交わします。とてもフレンドリーな人達であることに驚きました。

また、家族や親族の誕生日を盛大に祝うということも日本にはない文化で、少し驚きましたが、日本にもこのような文化があればいいのにと感じました。

今回パースでたくさんの人たちと会話してみて、英語の会話力というのはなかなか身につけられるものではなく、現地の人たちと対等に話すためには、その現地で7年間は住む必要があるという話を聞き、今まで英語の会話力を伸ばすためには、長期留学に行くしかないと考えていた私は、とても驚きました。しかし、その人はまた、留学に行くから、英語を話せるようになるわけではなく、大事なことは、自分が何を得たいのか、それを得るためにはどうすればいいのかなど、明確な目標、目的を持って留学に臨むということだということを私に教えてくれました。

● インターンシップが今後どう活かされていくか

今回初めてホームステイをしてみて、他文化の人と一緒に暮らすことの難しさを知った一方で、新たな発見も多くあり、大学入学時からの、将来国際的な企業で働くという夢を実現するために、今回のインターンシップはとても意味のあるものとなりました。

しかし、今回のインターンで、まだまだ自分の夢を叶えるためには、英語力、特に自分の

意思を伝える力が足りないことがわかったため、これからはこの欠点を埋めていけるよう努力して行きたいと思います。

また、必要なスキルのところでも述べましたが、日本で自分が当たり前に行っていることを説明するのは、日本語でも難しく、英語ではさらに難しくなります。この普段やっていることの意味や理由についても日々考える必要があるということに気づきました。

● 後輩たちへのメッセージ

正直海外インターンシップと聞いてもあまりピンとこないと思いますが、海外の生活を体験してみたい人や、自分の英語力がどのくらいなのか知りたい人には、ぜひ参加して欲しいと思います。また、この研修では自分がリサーチしたいことや、やってみたいことにチャレンジする機会がたくさんもらえるので、私たちと同じように、小学校を訪問して、日本文化紹介をやってみたい、海外での日本語教育がどのようなものなのか調べたいなど、どのようなことでも、挑戦してみることが大切なので、失敗を恐れずに何事にもトライしてみてください。必ず何かしらの発見があり、自分にとってプラスの何かを得られます。またパースは本当に優しい人が多く、過ごしやすい多文化な都市です。様々な国の人が暮らしているので、海外の文化や習慣などたくさん知ることが出来ます。海外について興味がある人には本当にオススメの都市です。

来年の海外インターンシップに参加する人たちが素晴らしく、忘れられない思い出や経験が得られることを願っています。頑張ってください。

